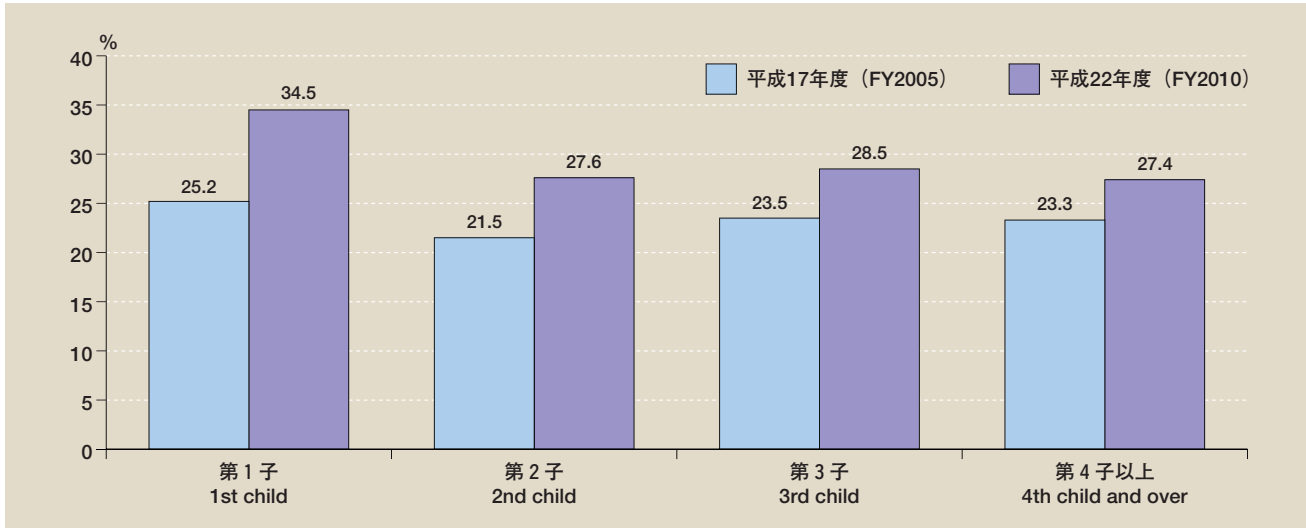


「平成22年度人口動態職業・産業別統計」から Vital statistics: occupational and industrial aspects, FY2010

第1子出生時に有職の母の割合は上昇

出生順位別にみた有職の母の割合の年次比較—平成17年度・平成22年度—
Comparison of percent distribution of working mother at birth by live birth order, FY2005・FY2010

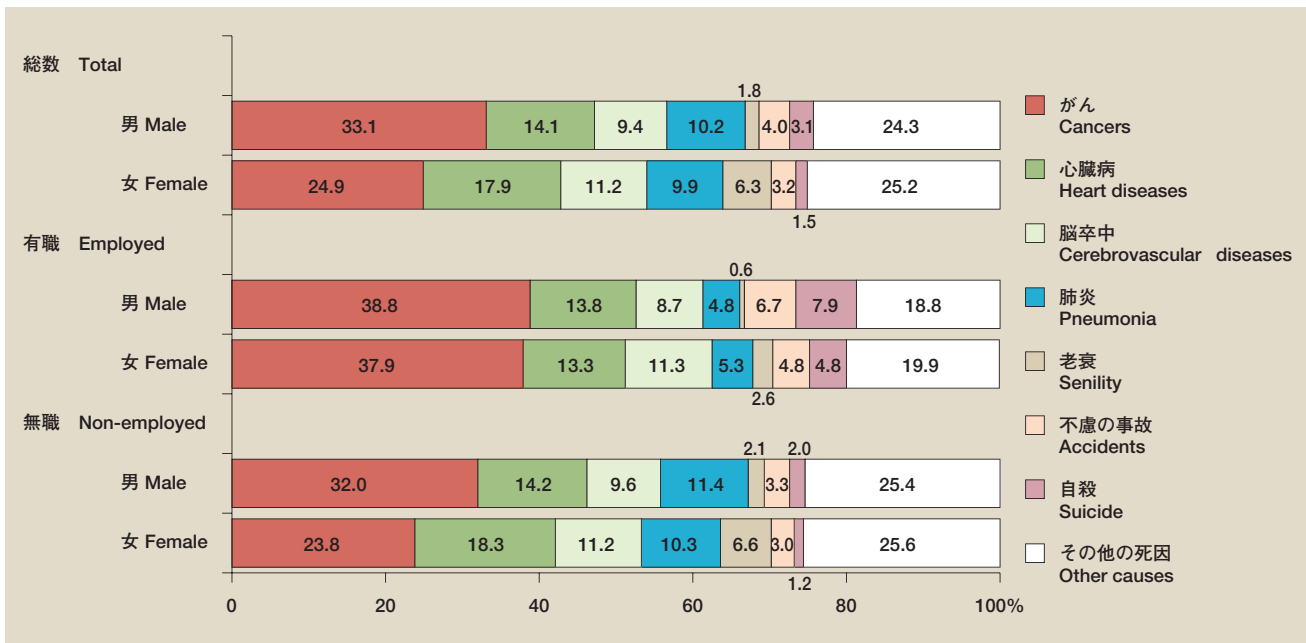


注：「有職」には休業者を含む。

第1子出生時に有職の母の割合は34.5%で、平成17年度の25.2%から9.3ポイント上昇した。

有職で死亡した者の約4割はがん

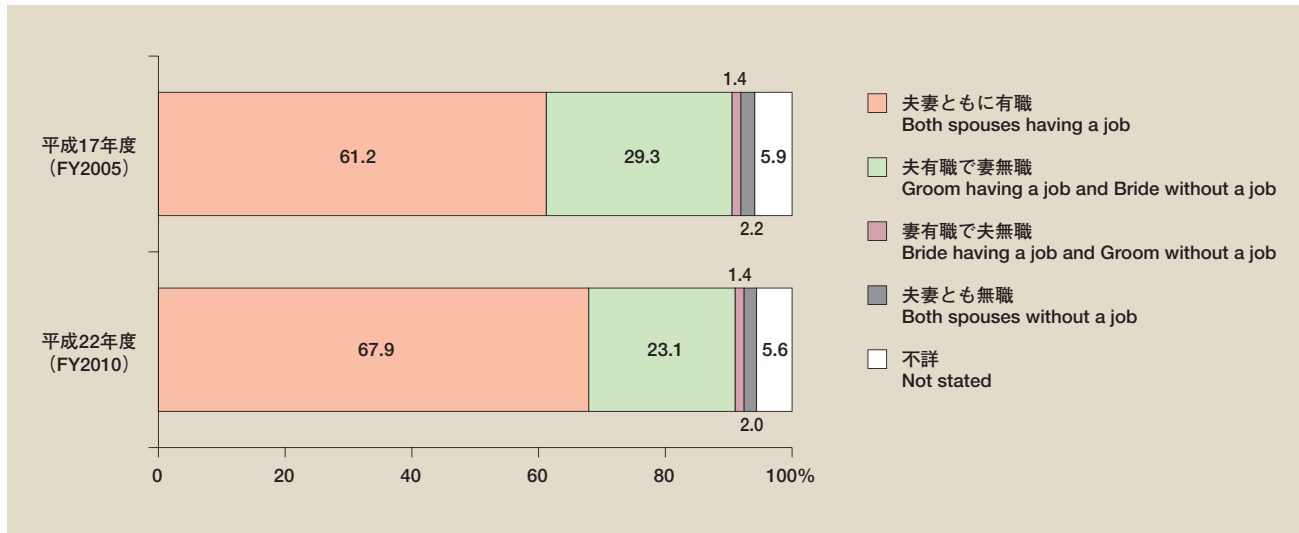
就業状態別にみた主要死因別死亡数構成割合—平成22年度—
Percent distribution of leading cause of death by employment status, FY2010



がんによる死亡の占める割合は、男性では33.1%、女性では24.9%で、有職についてみると男性では38.8%、女性では37.9%となっている。

夫妻ともに有職の割合が上昇

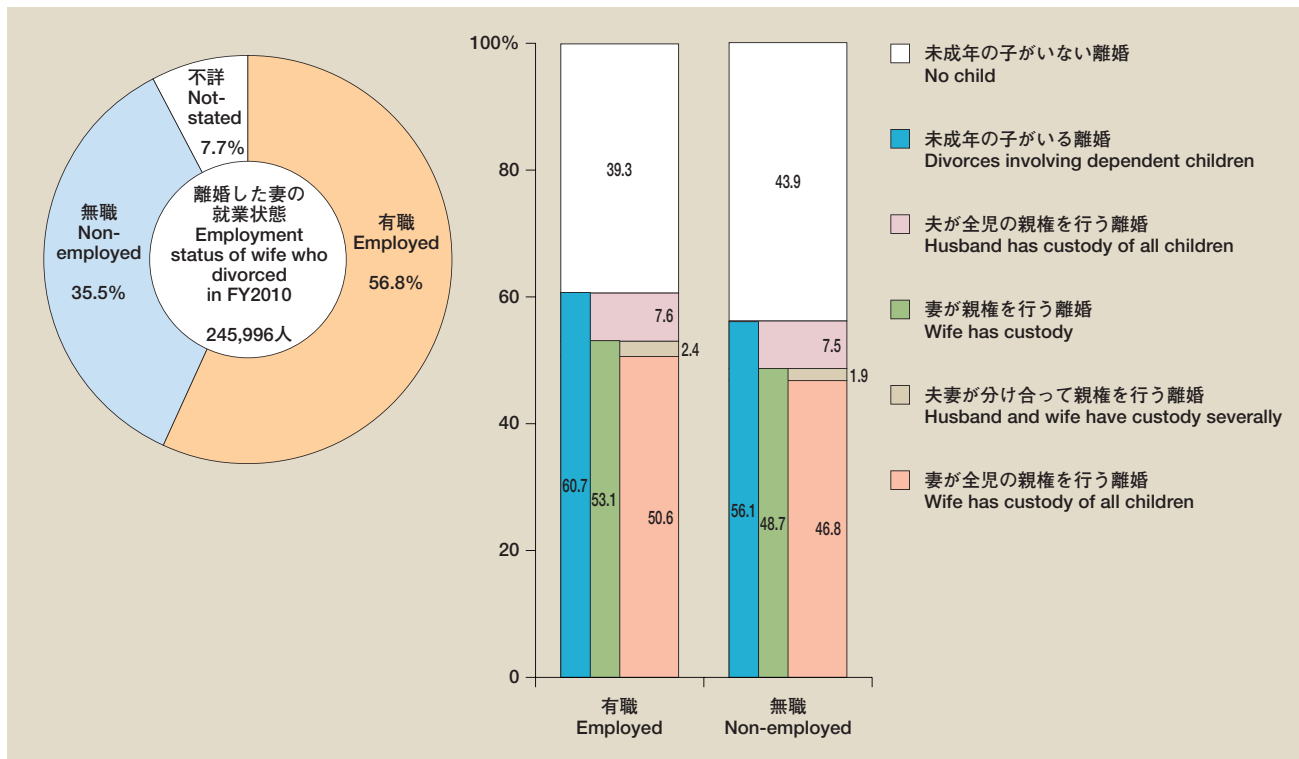
夫妻の就業状態別に応じた婚姻件数割合の年次比較—平成17年度・平成22年度—
Comparison of percent distribution of marriages by employment status of bride and groom, FY2005・FY2010



夫妻ともに有職の割合は67.9%で、平成17年度の61.2%から6.7ポイント上昇し、夫有職で妻無職の割合は23.1%で、平成17年度の29.3%から6.2ポイント低下した。

離婚した女性の35.5%は無職で、約半数は親権を行っている

妻の就業状態別に応じた親権を行わなければならない子の有無・親権を行う者の割合—平成22年度—
Percent distribution of divorces distributed according to the number of children by employment status of wife, FY2010



離婚した女性の35.5%は無職で、そのうち20歳未満の未婚の子がいる割合は56.1%、親権を行っている割合は48.7%となっている。